

孫の手通信

46号

発行人
江川次郎
株式会社
エガワ

世田谷区にダムを！

世田谷区では、「雨水タンク」の設置に助成を行っています。

レポート 江川秀生

ダムと、言っても世田谷区の真ん中に穴を掘って貯水池を作ろうというのではありません。世田谷区にお住まいの皆さんが、それぞれのお宅に「雨水タンク」を設置することが、世田谷にダムがあるのと同じような効果があるという考え方なのです。その効果を簡単に紹介しましょう。

1 つめは、節水による上下水道料金の節約です。(※1参照)

植木や庭への散水、洗車などの生活用水として有効利用することが出来ます。

2 つめは、いざという時の備えです。震災などでインフラが止ってしまっても、雨水を溜めておけば、そのまま飲む事はできませんが、トイレや雑用水には使用できます。水は普段の生活の中で欠かせない重要なものです。

以上二つは、日常生活の中での効果といえるでしょう。

3 つめは、集中豪雨などの際の雨水流出の抑制。

近年ゲリラ豪雨の被害が深刻化しています。「雨水タンク」の設置が大雨時の下水道や河川への流入量を抑え、道路冠水や河川のはんらんを抑制します。

4 つめは、地球環境への貢献です。(※2参照)

河川水から水道水を作るのにも、皆さんの家庭への給水や下水の処理にもエネルギーがかかります。雨水を利用することで、わずかもかもしれませんエネルギー削減、二酸化炭素の排出を抑制し、地球の環境に貢献できます。

以上が4つの雨水タンク効果

です。雨水利用が手軽にできるエコで環境対策にもなるなんて、「雨水タンクで世田谷ダム」は素晴らしいアイデアだと思います。



江川 秀生

「雨水タンク」利用の効果

◎ 年間の節約金額 (※1)

1カ月に水道を2.5m使用している家庭で、毎月雨水を1m使用した場合、東京都(23区)で年間3,635円の上下水道料金が節約。

2010年5月現在の料金で試算

◎ 環境への貢献 (※2)

水道水のかわりに、雨水を1m使用した場合、二酸化炭素を0.36kg削減。

環境省「家庭からの二酸化炭素排出量算定用排出係数一覧」(平成8年6月更新)

■ 世田谷区の助成額と助成手続き
助成額(本体購入費+設置経費)(消費税を含む)の2分の1。(100円未満切り捨て)
限度額 設置経費 5,000円
合計額 35,000円

世田谷区では、設置について助成を行っています。助成手続きの詳細については世田谷区ホームページ「雨水タンクに関する助成制度に関する助成制度」をご覧ください。

または、土木計画課 河川・雨水対策担当へ、お問い合わせ下さい。

電話番号 03-5432-2365

ファクシミリ 03-5432-3026

必ず購入、設置前に申請してください。事後申請は助成対象外となります。

江川秀生です。

我が家も世田谷区の助成制度を利用して、今年4月に雨水タンク(150ℓ)を設置しました。タンク一杯で、ジョウロ(8リットルタイプ)19回分、トイレ19回分の雨水を溜めることができます。妻は花、ボクは打ち水に利用しています。水道代を気にせず使えるのは気持ち良いものです。



江川秀生宅設置の雨水タンクタキロン「雨音くん」150